

基本政策 7 未来を拓く心と体を育むために

- 基本施策 7 - 1 子育て環境を充実させる
- 基本施策 7 - 2 学校教育環境を整備する
- 基本施策 7 - 3 学校教育を充実させる
- 基本施策 7 - 4 健全な青少年を育成する
- 基本施策 7 - 5 生涯学習を充実させる
- 基本施策 7 - 6 芸術・文化環境を充実させる
- 基本施策 7 - 7 生涯スポーツを充実させる

基本政策7 未来を拓く心と体を育むために

基本施策	具体的な施策
1 子育て環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ① 未就学児の保育環境を充実させる ② 放課後児童対策を充実させる ③ 発達支援体制を充実させる ④ 要援護世帯の自立を支援する ⑤ 家庭での子育て支援を充実させる
2 学校教育環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ① 安全で快適な学校を整備する ② 学びを支える教育環境を整備する ③ 学校給食を円滑に運営する ④ 適切な健康管理と安全・安心な環境を整備する
3 学校教育を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ① 特色ある学校づくりを推進する ② 学力向上のための授業づくりを推進する ③ いじめや不登校の問題を改善する ④ コミュニケーション力を高めるための英語教育を推進する
4 健全な青少年を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ① 青少年の健全育成体制を整備する ② 地域ぐるみで青少年健全育成活動を推進する ③ 青少年のリーダー的人材育成を推進する
5 生涯学習を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習機会を充実させる ② 学習活動のきっかけをつくる ③ 学習成果の活用を支援する ④ 家庭教育を充実させる ⑤ 地域教育力を高める
6 芸術・文化環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ① 芸術・文化活動を充実させる ② 文化団体を育成・支援する ③ 文化財を有効活用する
7 生涯スポーツを充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ① ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する ② 高齢者・障害者のスポーツ活動を推進する ③ スポーツを身近に感じる環境づくりを推進する ④ 大規模スポーツイベントへの組織的な支援体制を構築する



基本施策 7-1 子育て環境を充実させる

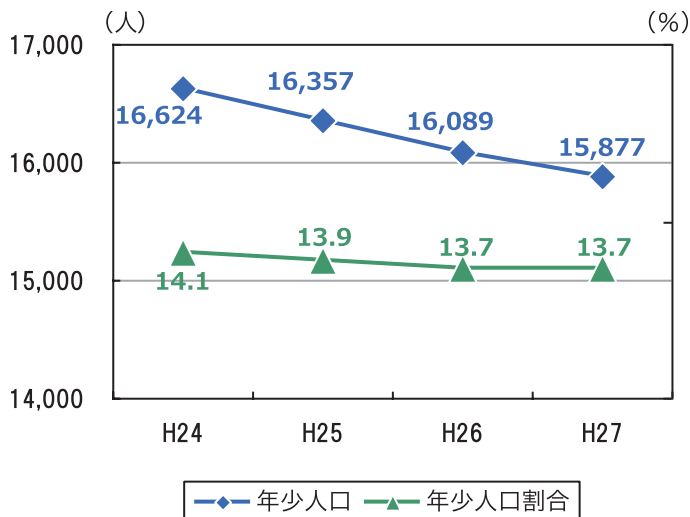
現状

子どもの育ちや子育てをめぐる環境は厳しくなっており、少子化、核家族化、地域における人と人とのつながりの変化などにより、子育ての負担や不安、孤立感が高まっています。

また、共働き家庭の増加などにより、乳幼児期及び学齢期における保育ニーズもますます増加していることに加え、児童虐待、発達支援、子どもの貧困など、社会的な支援を必要とする子ども・子育て家庭の増加も問題となっています。

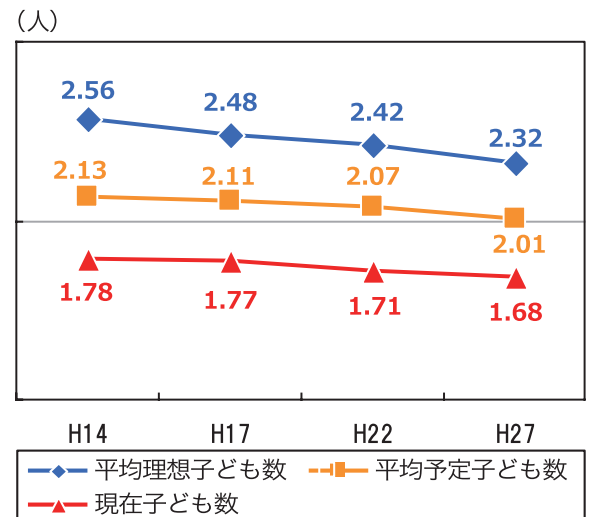
これらのことから、全ての子ども・子育て家庭への支援を、質・量共に充実させることが求められています。

年少人口（15歳未満）



◆ 栃木県：年齢別人口調査

全国の平均理想子ども数と平均予定子ども数



◆ 国立社会保障・人口問題研究所：出生動向基本調査(夫婦調査)

課題

- 保育環境の整備と質の向上
- 放課後児童の健全育成
- 発達に支援の必要な子どもに対する適切な支援
- 貧困世帯やひとり親世帯への支援の充実
- 子育て家庭の孤立感や負担感の軽減

具体的な施策

- ①未就学児の保育環境を充実させる
- ②放課後児童対策を充実させる
- ③発達支援体制を充実させる
- ④要援護世帯の自立を支援する
- ⑤家庭での子育て支援を充実させる

目指すまちの姿

安心して子育てができ、子どもたちが心豊かに育ち自立できるまちになっています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 未就学児の 保育環境を 充実させる	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童(入園待ち児童)の解消 保育の質の向上 	入園待ち児童	88人	ゼロを 目指す	子育て支援課 保育課
② 放課後児童対策 を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> 公設クラブへの運営委託・指導 民設クラブへの運営補助・指導 公設クラブの整備 	条例の基準を 満たしている クラブの割合	63.6%	100%	保育課
③ 発達支援体制を 充実させる	<ul style="list-style-type: none"> 発達に支援が必要な子どもの早期発見・早期支援 子どもの発達特性の理解と適切な関わり 関係機関の連携支援・「個別の支援計画」のデータベース化 	発達支援システムに同意を得た人数	0人	100人	子育て支援課
④ 要援護世帯の 自立を支援する	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止 貧困世帯の自立支援 ひとり親世帯の自立促進 給付金を活用した職業訓練の促進 ハローワークとの連携 	ひとり親家庭 高等職業訓練 促進給付金を 使って資格を 取得し職業に 就いた人数	2人/年	6人/年	子育て支援課
⑤ 家庭での 子育て支援を 充実させる	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援券の活用 子どもの遊び場の研究 ファミリーサポートセンターの活用 こども医療費助成 	子育てに対する 満足度	43.72% (H27)	70%	子育て支援課 保育課

関連する計画

子ども・子育て未来プラン(平成27～31年度)
 保育園整備計画(後期計画)【改訂版】(平成25～31年度)
 放課後児童クラブ整備計画(平成27～31年度)
 発達支援システム(平成28～30年度)
 第2期保育園における保育の質の向上のためのアクションプログラム
 (平成28～31年度)



基本施策 7-2 学校教育環境を整備する

現状

これまで本市では、児童生徒が安全で快適に学ぶことができるよう、教育環境の整備を図ってきました。

学校施設の耐震化は平成27年度に終了しましたが、体育館など老朽化している施設が多々あること、また近年の夏季における暑さや生活様式の変化への対応の必要性などから、施設や設備の改修等の推進による、安全で快適に学べる教育環境の整備が求められています。

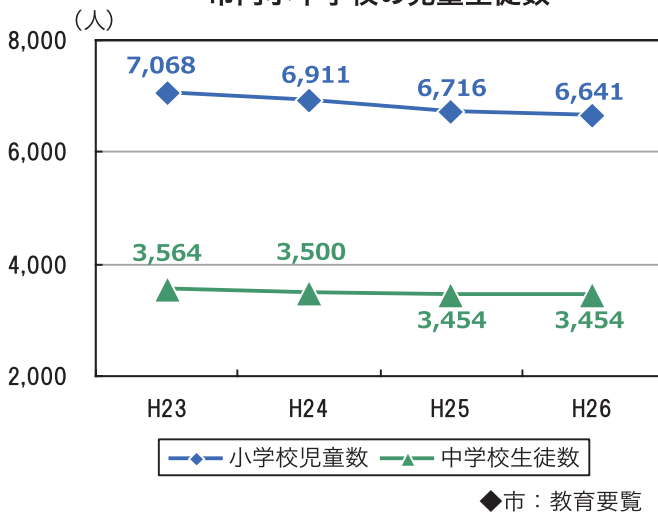
また、児童生徒数が減少傾向にあることから、引き続き学校規模の適正化に取り組んでいくとともに、老朽化した共同調理場について、その改築と併せて、民間活力の活用や調理場の集約を図るなど、より一層効率的な運営が求められています。

さらに、教育の機会均等を図るため、経済的理由で就学が困難な児童生徒に対し、必要な就学援助を行うほか、学ぶ意欲がありながら、経済的理由で修学が困難な生徒等に対し、奨学資金の支援・拡充が求められています。

また、いじめや不登校の問題への適切かつ丁寧な対応や特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな対応も求められているところです。

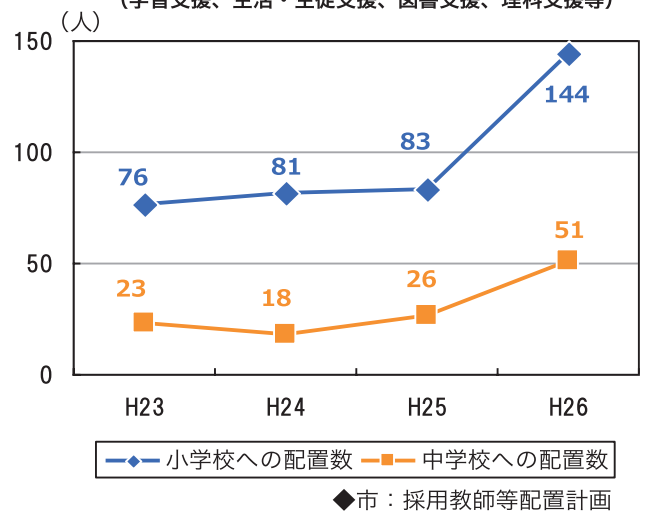
一方、教職員が職務に精励でき、特色ある学校づくりに積極的に取り組めるような学校環境を整えるために、教職員事務のシステム化など、教職員への支援も求められているところです。

市内小中学校の児童生徒数



市採用教師等配置数

(学習支援、生活・生徒支援、図書支援、理科支援等)



課題

- 安全・安心で快適な教育環境の確保
- 教職員の事務効率化
- 就学支援の充実
- 安全・安心な学校給食の提供
- 児童生徒の健康・安全の確保

具体的な施策

- ①安全で快適な学校を整備する
- ②学びを支える教育環境を整備する
- ③学校給食を円滑に運営する
- ④適切な健康管理と安全・安心な環境を整備する

目指すまちな姿

安全で快適な教育環境が整備され、全ての児童生徒が教育環境の充実した学校で生き生きと活動しています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 安全で快適な学校を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建設・改修 ・エアコンの設置 ・トイレの洋式化 ・施設の長寿命化の推進 	全小中学校普通教室へのエアコンの整備率	2.5%	100%	教育総務課
② 学びを支える教育環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模の適正化 ・スクールバスの運行 ・教材、備品の整備 ・奨学資金の給付・貸与 ・校務支援システムの整備 ・ICT*支援員の配置 ・きめ細かな指導をするための人的支援の充実 ・学校情報セキュリティの強化 ・準要保護の認定に係る事務の適正な実施 ・スクールソーシャルワーカー*の有効活用による家庭への支援の充実 ・特別支援教育の充実 	スクールソーシャルワーカーの配置数	1人 (H27)	5人	教育総務課 学校教育課
③ 学校給食を円滑に運営する	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な学校給食の提供 ・食育の推進 ・学校給食調理の民間委託の拡大 ・給食費滞納対策の強化 ・学校給食共同調理場の建設 ・学校給食施設及び設備の改修 	地場産物活用状況の割合	23.4%	50%	教育総務課
④ 適切な健康管理と安全・安心な環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康診断の適切な実施 ・アレルギーへの適切な対応 ・通学路の交通安全対策の構築 	通学路合同点検箇所のうち対策が行われた箇所の割合	24.8%	50%	学校教育課

関連する計画

教育大綱(平成29～33年度)

教育振興基本計画(平成29～33年度)

*ICT：インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略。「IT＝情報技術」に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉

*スクールソーシャルワーカー：不登校・児童虐待・経済的困窮等の様々な問題を抱える児童生徒・保護者に対し、学校からの要請により、各関係機関と連携を図りながら支援に当たる専門職



基本施策 7-3 学校教育を充実させる

現状

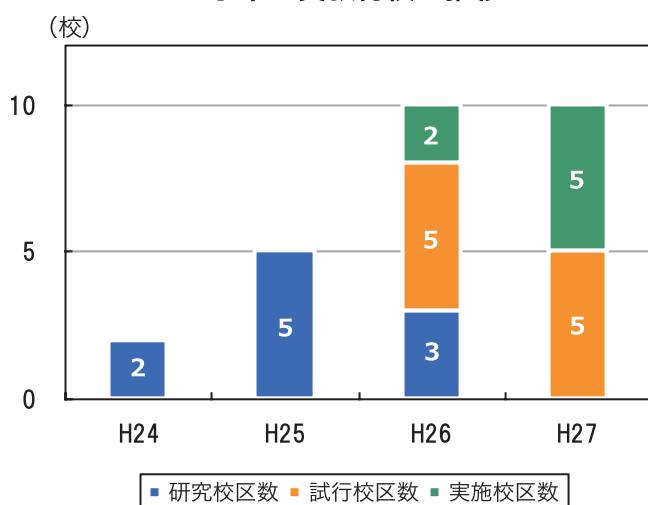
本市の学校教育は、これまで「人づくり教育」を基本方針に、小中一貫教育の導入や授業のあり方の見直しなどを行いながら、「楽しさいっぱい 夢いっぱい ふるさと大好き 那須塩原っ子」を目指す子ども像とし、「確かな学力・体力」「社会力」「豊かな心」の育成に取り組んできました。

変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくための資質・能力を育てるため、児童生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身に付けさせる授業づくりへの取組が求められています。

また、国際化が進展する社会の中で、国際感覚とコミュニケーション力をもった人材を育成するため、現在、本市が積極的に推進している英語教育の充実が求められています。

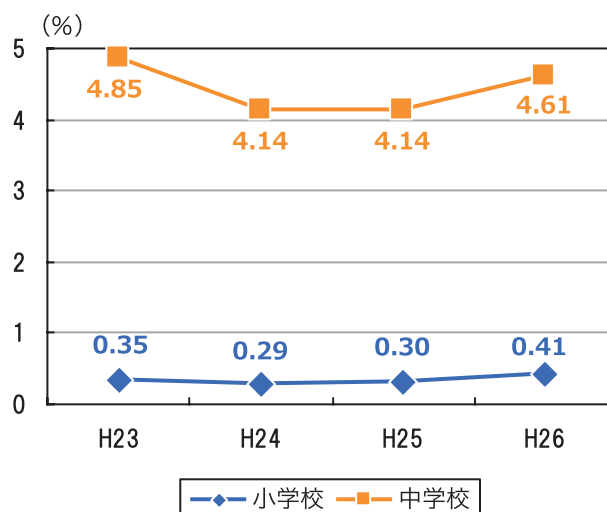
一方、本市における児童生徒の不登校の問題は、その改善に向けて引き続き努力していく必要があります。一人ひとりの児童生徒をよく見取り、良さを認め、児童生徒の不安や悩みに対して適切に助言し、支援する体制の整備が求められています。

小中一貫教育校の推移



◆市：小中一貫教育推進計画

本市の不登校出現率



◆文部科学省：問題行動調査

課題

特色ある学校経営の推進	→
学校支援の充実	→
学習意欲と学力の向上	→
いじめや不登校等の問題への適切な対応	→
グローバル社会に求められるコミュニケーション力の育成	→

具体的な施策

①特色ある学校づくりを推進する
②学力向上のための授業づくりを推進する
③いじめや不登校の問題を改善する
④コミュニケーション力を高めるための英語教育を推進する

目指すまちの姿 確かな学力・体力と、豊かな国際感覚・コミュニケーション力を持ち、たくましく生きる力を身に付けた児童生徒が育っています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 特色ある学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育（義務教育学校を含む）の充実 学校評価や学校評議員制度の充実 学校と家庭・地域の連携の充実 各学校の特色ある教育活動の支援の充実 児童生徒のスポーツ・文化活動の支援の充実 	小中一貫教育に「よく対応している」と答える教職員の割合（自己評価）	67% (H27)	100%	学校教育課
② 学力向上のための授業づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代に必要となる資質・能力を育成する授業づくりの推進 ICT*機器を有効活用した授業の工夫 研修や授業研究会の充実 	学習指導に「よく対応している」と答える教職員の割合（自己評価）	88% (H27)	100%	学校教育課
③ いじめや不登校の問題を改善する	<ul style="list-style-type: none"> hyper-QU*を活用した学級経営の充実 教育相談体制の充実 適応指導教室及び宿泊体験館メープルの運営の充実 	不登校出現率	小学校 0.41% 中学校 4.61%	小学校 0.30% 中学校 3.31%	学校教育課
④ コミュニケーション力を高めるための英語教育を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫英語教育カリキュラムの充実 ALT*の有効活用 リンツ市との中学生交流の充実 	「英語が好き」と答える児童生徒の割合	小学校 88% 中学校 66%	小学校 93% 中学校 71%	学校教育課

関連する計画

教育振興基本計画（平成29～33年度）

※ICT：インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略。「IT＝情報技術」に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉

※hyper-QU：学校生活における児童生徒の意欲や満足感、および学級集団の状態を測定するアンケート

※ALT：アシスタント・ランゲージ・ティーチャーの略。外国語を母国語とする外国語指導助手のことで、児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的として学校に配置され、授業を補助する。



基本施策 7-4 健全な青少年を育成する

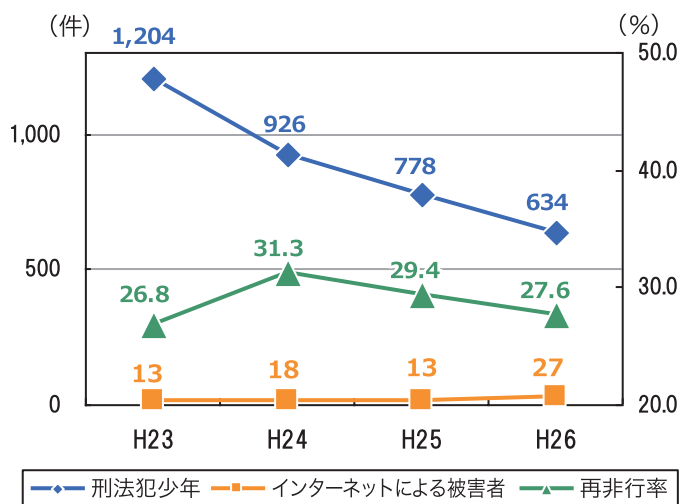
現状

近年、少子高齢化や核家族化、家庭・地域の教育力の低下、地域における人と人との関わり方の変化など、青少年を取り巻く社会環境が大きく変化している中、青少年による非行や犯罪は減少傾向にあるものの、SNS*の発達によるネットいじめや個人情報の流出など、ネット犯罪の加害者あるいは被害者になるといった新たな問題が生じています。

こうした中、次代を担う青少年が夢と希望を抱き、健やかで明るく育つよう、家庭、学校、地域が連携を図り、関係機関が一体となって、青少年を取り巻く環境の浄化や青少年の非行防止活動に取り組んでいく必要があります。

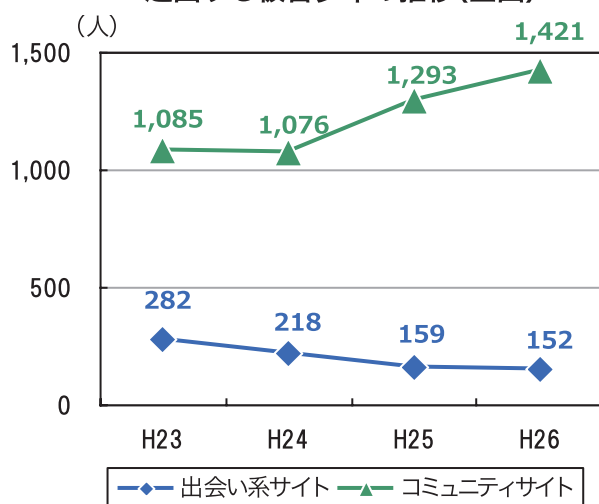
また、青少年の社会参加活動を促進し、地域で活躍できる青少年のリーダーを育成することも求められています。

非行少年数（栃木県）



◆栃木県警察本部：少年非行

出会い系サイト、コミュニティーに起因する被害少年の推移(全国)



◆警察庁広報資料

課題

青少年健全育成体制の強化

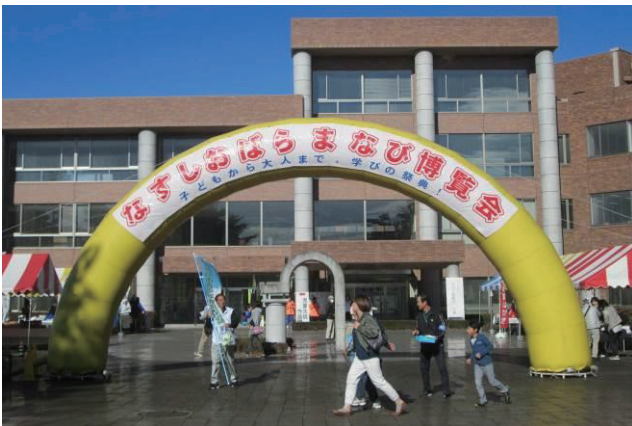
青少年活動や関係団体への支援

具体的な施策

- ①青少年の健全育成体制を整備する
- ②地域ぐるみで青少年健全育成活動を推進する
- ③青少年のリーダー的人材育成を推進する

目指すまちの姿
 地域ぐるみで子どもを育てる意識を持ち、「ふるさと那須塩原市」を愛する心豊かでたくましい青少年が育っています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 青少年の健全育成体制を整備する	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成組織の充実 巡回指導活動及び相談体制の充実 正確な知識の普及と啓発活動の推進 	少年指導員数	124人	135人	生涯学習課
② 地域ぐるみで青少年健全育成活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを守る活動の推進 青少年の社会参加促進 	子どもを守る家設置数	1,481件	1,530件	生涯学習課
③ 青少年のリーダー的人材育成を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 生活体験や自然体験の充実 青少年健全育成団体への支援 青少年のリーダー育成 	青少年の参画・活動機会の提供数	11件/年	16件/年	生涯学習課



なすしおばらまなび博覧会での街頭啓発



子どもフェスタ

関連する計画

第2期青少年プラン(平成29～33年度)

※SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、人と人とのつながりを促進・支援するコミュニティ型の会員制サービス、又はサービスを提供するWebサイト及びネットサービスのこと。